

医療法人田中会 武蔵ヶ丘病院 広報誌「むさし」

MUSASHI

特集

武蔵ヶ丘病院の外科手術

2024.5
vol.

12

vol.12
2024.5

本誌は無料です。ご自由にお持ち帰りください。

制作 / 武蔵ヶ丘病院 広報

TAKE FREE

MUSASHI

医療法人 田中会
武蔵ヶ丘病院

〒861-8003 熊本市北区楠7丁目15-1
Tel.096-339-1161(代表) Fax.096-339-4717(代表)

武蔵ヶ丘病院 検索



外来予約専用ダイヤル ☎ **096-339-1155**

- ご予約は受診希望日の前日までに、ご連絡をお願いいたします。
- ご予約は定期受診の方が対象です。初診の方のご予約はお受けいたしかねます。(予約制の診療科は除く)



特集

武蔵ヶ丘病院の外科手術

単孔式腹腔鏡下手術を積極的に実施

当院は2021年1月に外科の竹内医師が就任後、①胆のう、②虫垂、③鼠経ヘルニアの鏡視下手術を積極的に実施し、2023年度（3月末まで）は95件の手術を行いました。鏡視下手術は、通常数個の穴が必要な「多孔式腹腔鏡下手術」が行われますが、竹内医師就任後は、①、②については「単孔式腹腔鏡下手術」を実施しております。単孔式腹腔鏡下手術とはなにか？どのようなメリットがあるか？当院外科、水流添院長にインタビュー形式で答えていただきました。

◀ NEXT 単孔式腹腔鏡下手術とは？

単孔式腹腔鏡下手術を行う竹内医師



Q デメリットはありますか？

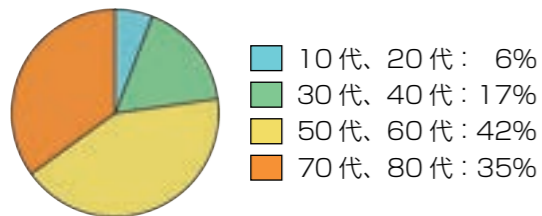
A もちろんデメリットもあります。それは1か所の孔での操作になり、手術器具の操作性が悪化するので、高度な技術が必要なことですね。つまり手術できる医師が少ないということです。ですが当院では2021年に竹内医師が就任したことにより、単孔式腹腔鏡下手術を積極的に行えるようになりました。

2023年度 腹腔鏡下手術実績

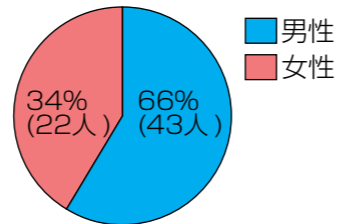
- ★ 腹腔鏡下胆のう摘出術 28件
- ★ 腹腔鏡下鼠経ヘルニア手術 25件
- ★ 腹腔鏡下虫垂切除術 12件
- 腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術 4件
- 腹腔鏡下ヘルニア手術 5件
- その他 21件

合計 95件

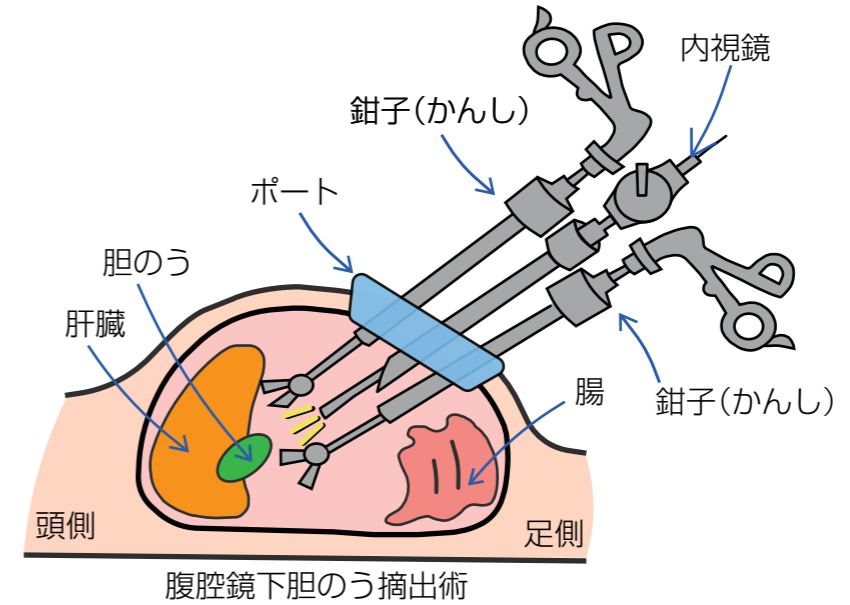
年代別 (★の内訳)



男女別 (★の内訳)



A 当院では胆のう、虫垂、鼠経ヘルニア(脱腸)を中心に実施しており、胆のう、虫垂については「単孔式腹腔鏡下手術」を積極的に行っています。(すべての方が適応ではありません)

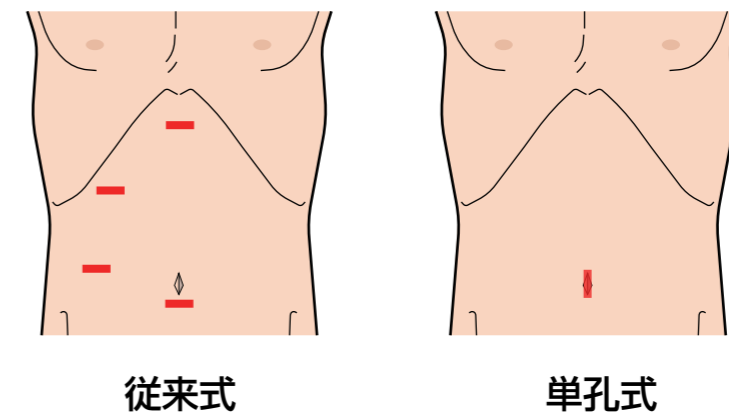


Q 単孔式腹腔鏡下手術ってどんな手術ですか？

A 単孔式腹腔鏡下手術はおへそに2cmの孔を開け、特殊な機械で広げてポートを1本だけ挿入し、そのポートを通して5mmのカメラ1本と鉗子2本を入れ、それを操作して手術をします。開ける孔が1つだけなので様々なメリットがあります。

Q 当院の診療実績を教えてください

切開創(傷)の比較



Q メリットはなんですか？

A 1番のメリットはおへその中に手術の傷跡が収まるので、とても整容性に優れていることです。また傷口が1か所ですごく小さいので術後の経過がとても良く、傷の痛みも小さいので手術による身体への負担はとてま少なくなります。

医師紹介

胆石症、虫垂炎に対して、可能であれば単孔式の腹腔鏡下術を積極的に行っております。鼠径部ヘルニアに対しても腹腔鏡下修復術を積極的に行っております。胆石発作では、主にみぞおちや右上腹部や右背部が痛くなります。虫垂炎では主に右下腹部が痛くなります。鼠径部ヘルニアでは、下腹部の足の付け根あたりがポッコリ膨らんだり引っ込んだりします。何か気になることがありましたら、遠慮なくご相談ください。

外科部長 竹内 正昭

タケウチ マサアキ

診療科目 総合診療科、外科

主な専門 外科、消化器外科

認定資格 医学博士

日本外科学会外科専門医・指導医

日本消化器外科学会専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医

日本大腸肛門病学会大腸肛門病専門医・指導医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医

マンモグラフィ読影認定医

日本腹部救急医学会認定医

日本ヘルニア学会評議員

日本ヘリコバクター学会 H.pylor (i ピロリ菌) 感染症認定医

当院では「医業を通じて人に、社会に、貢献する。」という法人理念のもと、日々の診療などにあたっています。お近くにお住まいの方々がご困りの時はなるべく対応させていただこうと考えており、手術についても当院で対応可能な疾患に対しては安全に配慮しながら行っております。持病がある方、ご高齢の方でも、手術を準備する段階から内科医師と協力してスムーズに施工できるように努めています。お気軽にご相談ください。

院長 水流添 周

ツルゾエ シュウ

診療科目 総合診療科、外科

主な専門 外科

認定資格 日本外科学会外科専門医

日本医師会認定産業医

人間ドック健診情報管理指導医



手術前日と当日の朝には、手術スタッフが患者様の元へ伺い、手術の内容や質問に対して丁寧に対応し、安心して手術を受けていただける体制を整えております。





理学療法士

田宮 史章

たみや ふみあき

1993年生まれ。荒尾市出身。リハビリテーション部 主任。最近ハマっていることは「アウトドア」と「バイク」。

国内留学とは、どのような制度ですか？

当院のリハビリスタッフが半年間、愛知県にある藤田医科大学病院に行き、高度急性期、急性期、回復期、慢性期などの包括的な病棟の研修を受け、様々な疾患の方への先進的なリハビリテーションを間近で学習できる制度です。

留学先の藤田医科大学病院とはどのような病院ですか？

リハビリ部門に関しては、リハビリ先進機器を扱う先駆者のような存在として先進的なリハビリを積極的に行われている病院です。歩行ロボットの開発に手厚く携わっていたり、定量的に動作を評価する機器の開発をしていたり、その分野においては日本随一の病院と言っても過言ではないと思います。

一日のルーティンを教えてください。

基本的に朝出勤し、午前は当院にも設置している三次元動作解析装置「キネマトレーサー」という評価機器を使って解析の補助をしていました。他にも、希望する分野にアポイントを取り、様々な病棟に足を運んで現場を見学させていただきました。午後は、回復期病棟を中心に回り、当院にも設置しているリハビリテーション支援ロボット「ヴェルウォーク」の実践的な使い方を学びました。定時以降は自己研鑽枠として自主的に研究活動や先進活動



や先進機器のミーティング、関連の大学病院の教授やリハビリの上層部の方々が集まる症例検討会などに参加させていただきました。毎日、大体19時〜20時頃まで病院にいたと思います。

特にどのようなことを学べましたか？

藤田医科大学病院のリハビリテーションは「人の活動と生活の向上」をテーマにされています。どのようにして患者様が自立していくのか、どのタイミングで自立していただくのか、安全に自立して自宅に戻るといったような手助けができるのか？そういった過程を適切にすばやく組んでいきます。そしてそれを実現するためには「多職種との関わりが何より大切」ということを深く学べたことは、今の武蔵ヶ丘病院のリハビリテーション部をさらに発展させるための一助となっていると思います。

藤田医科大学病院で驚いたことはありますか？

リハビリに関しては、ICUから出たばかりの方や人工呼吸器などを付けた状態の方を立てていたことに驚きました。それと同時に、もし当院に取り入れるとしたら、安全面に関する圧倒的な専門知識が必要を感じました。その他には、リハビリを実践する臨床の現場に大学の先生が同席する機会があり、「実際に患者さんがどのような経過を経て、治っていったのか？」というのを研究的な視点から評価し、治療の経過をデータをもと



国内留学を経て、今後の意気込みをお願いします。

理学療法士という仕事をさせていただいている身として、当たり前ですが常に「質の高いリハビリテーション」を提供したいと思っているのですが、留学前はその手段がまだまだ少なかったように思います。ですが、半年間の留学により、以前と比べて選択肢や経験が増えたことで「質の高いリハビリテーション」という言葉に重みが増したように感じます。今後は、当院に藤田医科大学病院の良い部分が良い形でシステム化されて、目の前の患者さんの利益になって還元できるように、さらに頑張っていきたいと思っています。

武蔵ヶ丘病院より、10名が学会発表を行いました!

細川 浩

演題:「当院回復期病棟における経鼻経管栄養患者の経管抜去の実態とその特徴について」
演題:「回復期リハビリテーション病棟における骨粗鬆症リスクスクリーニングの導入について」

千手 佑樹

演題:「回復期リハビリテーション病棟入棟中の状態悪化により、転院もしくは死亡退院に至った症例の年次推移」

坂田 潤哉

演題:「重度左半側空間無視を呈した症例に対するVirtual Realityデバイスを用いた介入報告」

花宮 愛美

演題:「当院における摂食・嚥下障害スクリーニングシステムの導入効果について」

藤井 廉

演題:「回復期脳卒中後症例における歩行左右非対称性の遷移パターンについて」

鎌倉 敬志

演題:「当院回復期リハビリテーション病棟における転棟・転落対策の取り組み」

堀之内 真聖

演題:「生体電気インピーダンス法によって求められる入院時Phase angleは回復期リハビリテーション病棟患者の退院時歩行自立の可否に独立して関連する」

吉永 寛生

演題:「自動車運転の代替手段獲得支援を並行して実施したことで運転中断を決定した事例」

野中 裕樹

演題:「回復期リハビリテーション病棟入院患者のADL帰結を予測する因子の検討およびカットオフ値の算出」

田宮 史章

演題:「当院におけるロボットを用いた歩行リハビリテーション戦略について」



学会報告

2024年3月8日、9日に熊本城ホールにて回復期リハビリテーション病棟協会第43回研究大会が開催されました。



入職式

新入職員コメント



薬剤部 外口

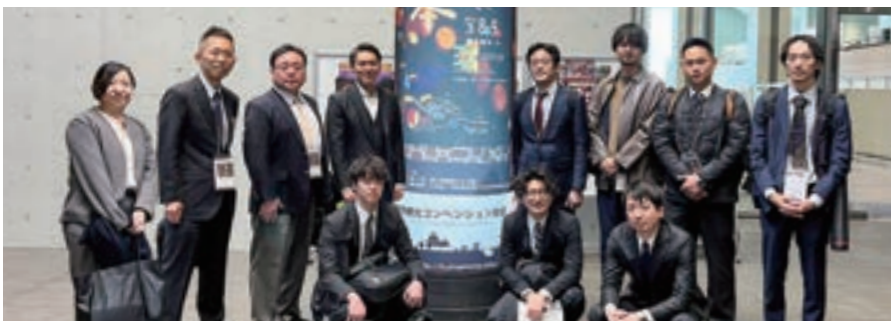
まだまだ未熟ですが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします!



薬剤部 福田

いち早く業務を覚えて、患者さまに貢献できるよう精一杯がんばります!

2024年4月1日武蔵ヶ丘病院では「2024年度入社式」が行われ、28名の新入社員が入社しました。
改めまして皆さん、ご入職おめでとうございます!



左 介護士 中央 看護師(女性) 右 看護師(男性)



看護師・介護士の制服が新しくなりました

4月より看護師・介護士職員の制服が一新しました。
気持ちも新たに、より患者さまに寄り添った医療を提供できるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



熊本の医療研究機関MCR Cとの酵素風呂の共同研究が開始!!

サウナシユラン2023を受賞された「ぬかどゆげ」様と弊センターでの共同プロジェクトがスタートいたします。お客様のサービスの質の向上に繋げることを目的に、米ぬか酵素風呂の健康効果の解明に取り組んでまいります。



PR TIME
プレスリリース
CHECK